

手話を世の光に

～まちのあたりまえを変える明石市の挑戦～

平成28年11月3日

「手話の普及促進・啓発を考えるフォーラムinふくい」

明石市長 泉 房穂

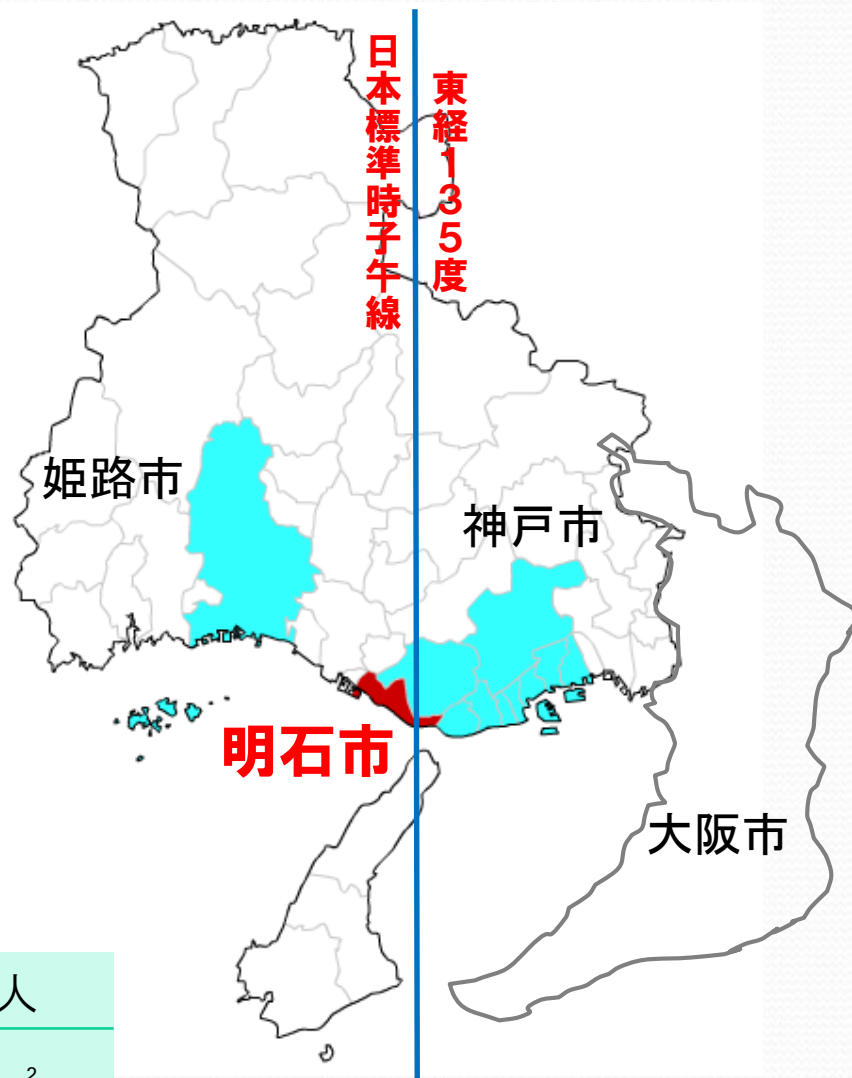
弁護士・社会福祉士

はじめまして！

明石市長 泉 房穂(いずみ ふさほ)

- 1963年 明石市生まれ
- 弁護士
- 社会福祉士
- 元衆議院議員
- 元NHKディレクター
- 2011年より明石市長（現在2期目）
- 柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人

明石市のご紹介



人口 約 29万人

面積 約 49 km²

市長としての思い

- ①聴覚障害者が暮らしやすい社会をつくる
のは行政の責任
- ②できることを見つけて、実際に始める
- ③福祉の充実をまちの発展につなげる

①聴覚障害者が暮らしやすい社会を作るのは行政の責任

なくてはならない施策をするのは誰の責任？

 聴覚障害者の自己責任

 行政の責任...国だけではなく市



責任者は市長

②できることを見つけて、実際に始める

(1) 条例 ①手話言語・障害者コミュニケーション条例
②明石市障害者配慮条例

(2) 予算 公的助成制度

(3) ひと ①障害当事者の採用
②手話通訳士職員の採用

誰もが暮らしやすいまちの実現に向けた4つのSTEP



誰もが
暮らしやすいまちへ

ステップ° 4 合理的配慮への公的助成

ステップ° 3 障害者差別解消条例の制定

ステップ° 2 多様なコミュニケーションの促進

ステップ° 1 手話言語の確立



明石市手話言語・障害者コミュニケーション条例

手話言語
条例

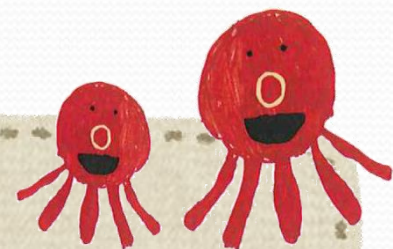


情報
コミュニケーション
条例

明石市の



手話言語・障害者
コミュニケーション条例



手話言語・障害者コミュニケーション条例の内容

1

手話を言語として認める

手話言語

- 手話が独自の言語であることを認めます。
- その上で、手話と手話への理解を広めていきます。



手話言語・障害者コミュニケーション条例の内容

2

いろいろな コミュニケーションの支援

情報
コミュニケーション

- コミュニケーション手段を
 選べるようにしていきます。
 （手話や要約筆記、点字、音訳など）
- 手話通訳者・要約筆記者・点訳者・
 音訳者などを育てて増やしていきます。



「明石市障害者配慮条例」

障害者に対する配慮を促進し誰もが
安心して暮らせる共生のまちづくり条例

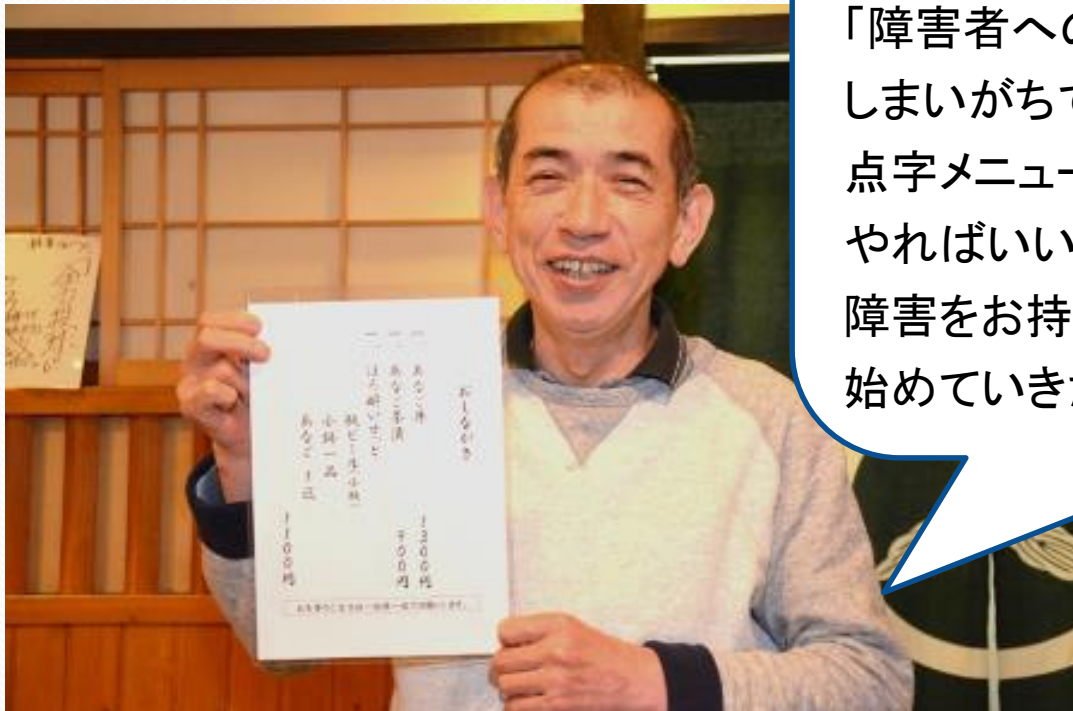


障害者差別解消法に合わせて
平成28年4月1日スタートしました
特徴は「合理的配慮の促進」

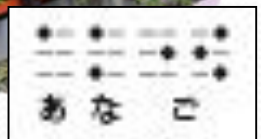


明石のまちが変わります

去年参加した条例検討会で、視覚障害のある人の声を直接聞くことができました。「障害者への配慮」と聞くと難しいことと考えてしまいがちですが、例えば点字が読める人に点字メニューを用意するなど、できることをやればいいと気づきました。これからは、他の障害をお持ちの方に対しても、できる配慮から始めていきたいと思えます。



株式会社 林喜商店 代表取締役社長 林 祝雄さん
(筆談ボードと点字メニューを導入)

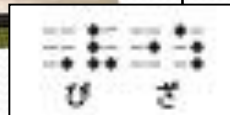


明石のまちが変わります

イタリアンレストランで、
点字メニューと筆談ボードを
導入しました。こういう取り組みが
増え、認知されていけばよいと
考えています。“食”を通して
人にやさしいまちになるよう、
飲食関係の輪を広げていきたい
ですね。



株式会社 キャッスルホテル料飲事業部 部長
東野 篤也さんとスタッフのみなさん
(筆談ボードと点字メニューを導入)



明石のまちが変わります



●● ●● ●●
●● ●● ●●
●● ●● ●●
けーき

くるみや本店

入口に折りたたみ式スロープを設置して
車イスもベビーカーも入りやすくなりました。

(筆談ボード・点字メニュー・
折りたたみ式スロープを導入)



明石のまちが変わります

以前から店には中国語や英語などの外国語メニューを置いていました。このたび、店に点字メニューの導入をすすめています。障害のある人もない人もおいしい物を同じように食べられるのは当たり前のことだと思います。



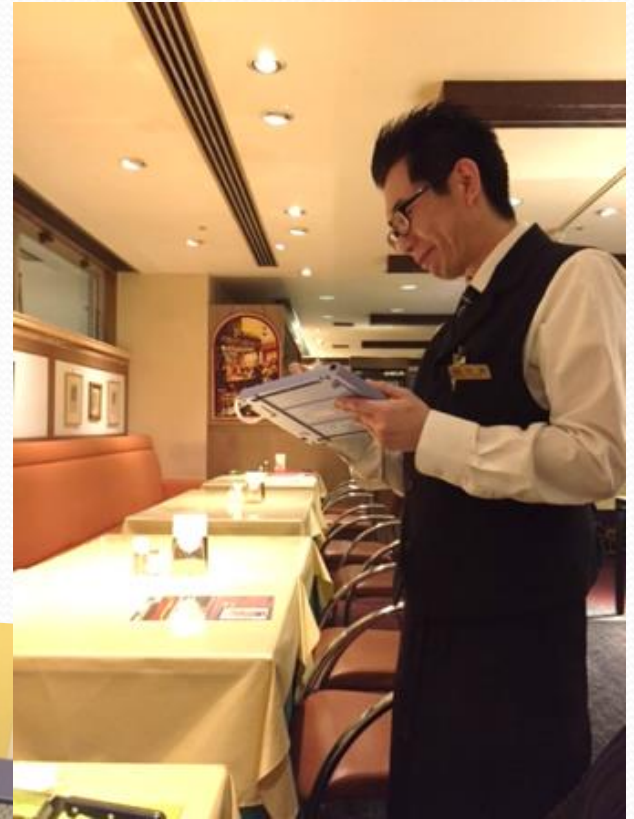
都きしめん
明石飲食業組合 組合長 宮内 正次さん
(筆談ボードと点字メニューを導入)

明石のまちが変わります

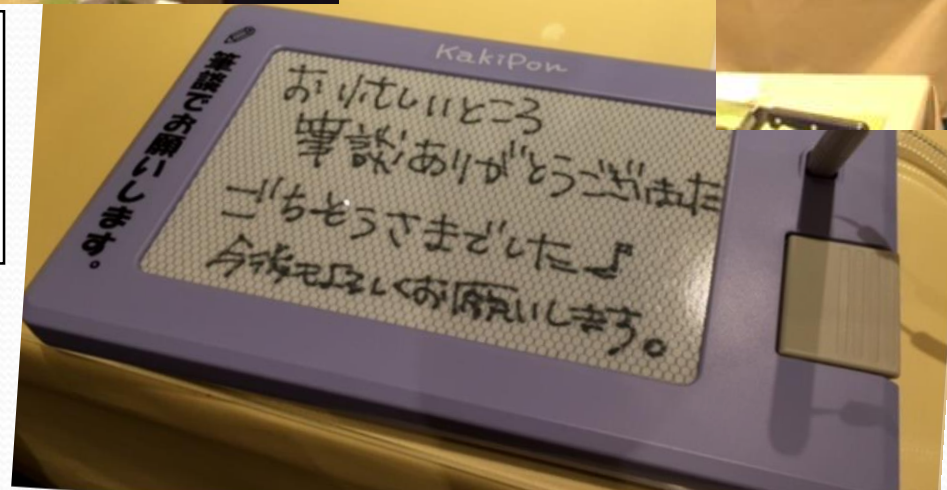


お好み焼き屋で点字メニューを読む
視覚障害者

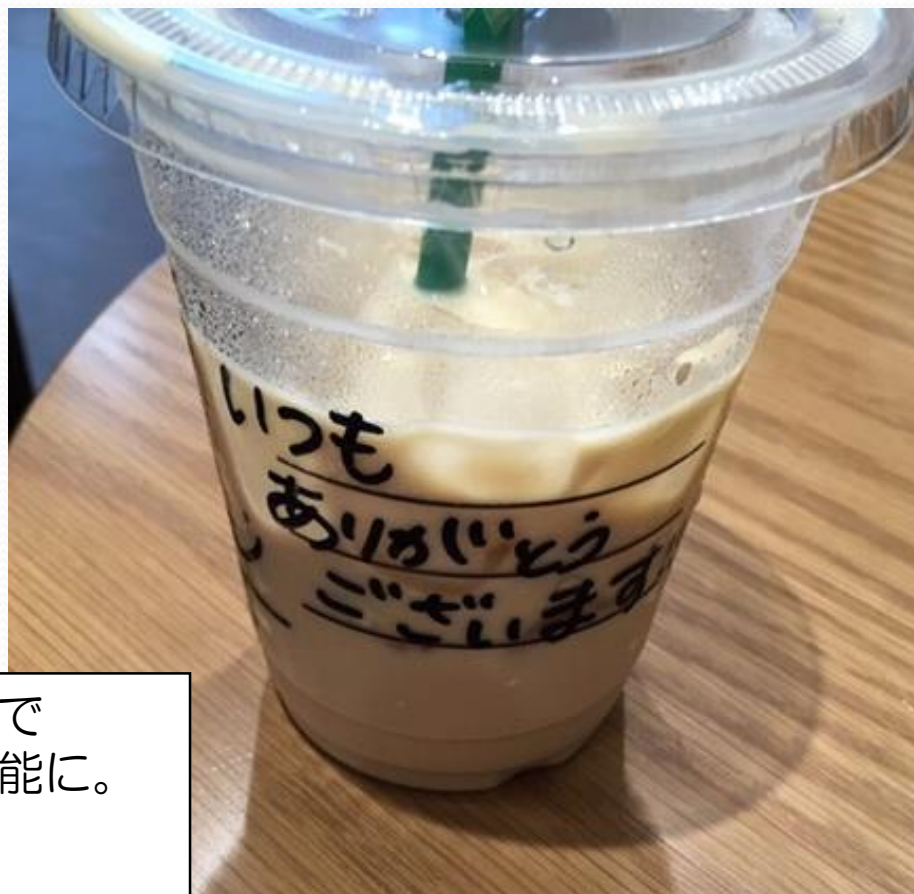
明石のまちが変わります



イタリアンレストランで
筆談ボードを利用して
料理の説明を受ける
聴覚障害者

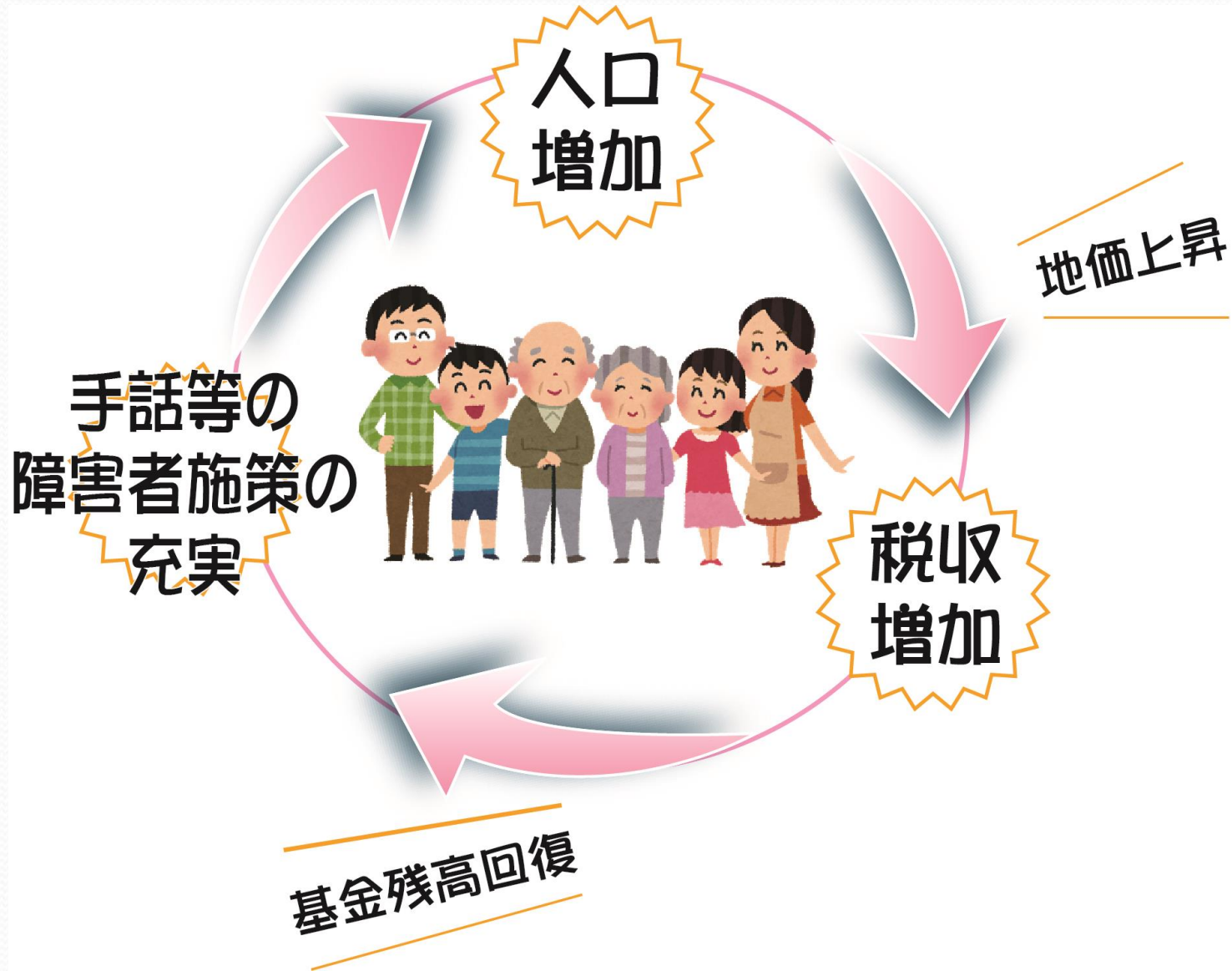


明石のまちが変わります

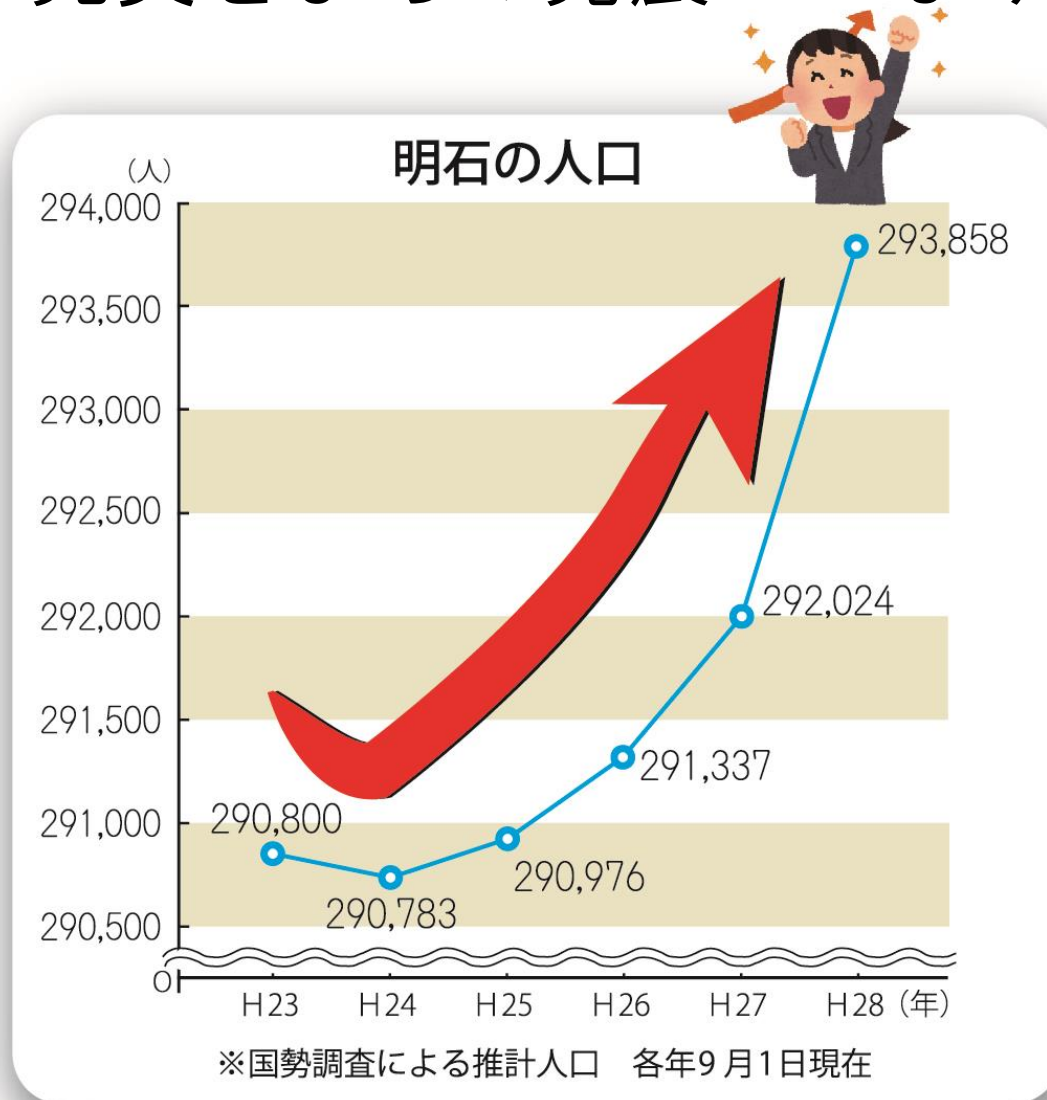


ろう者もスターバックスで
カスタマイズの注文が可能に。
氷少なめ、ミルク多め、
ミルクは無脂肪で！

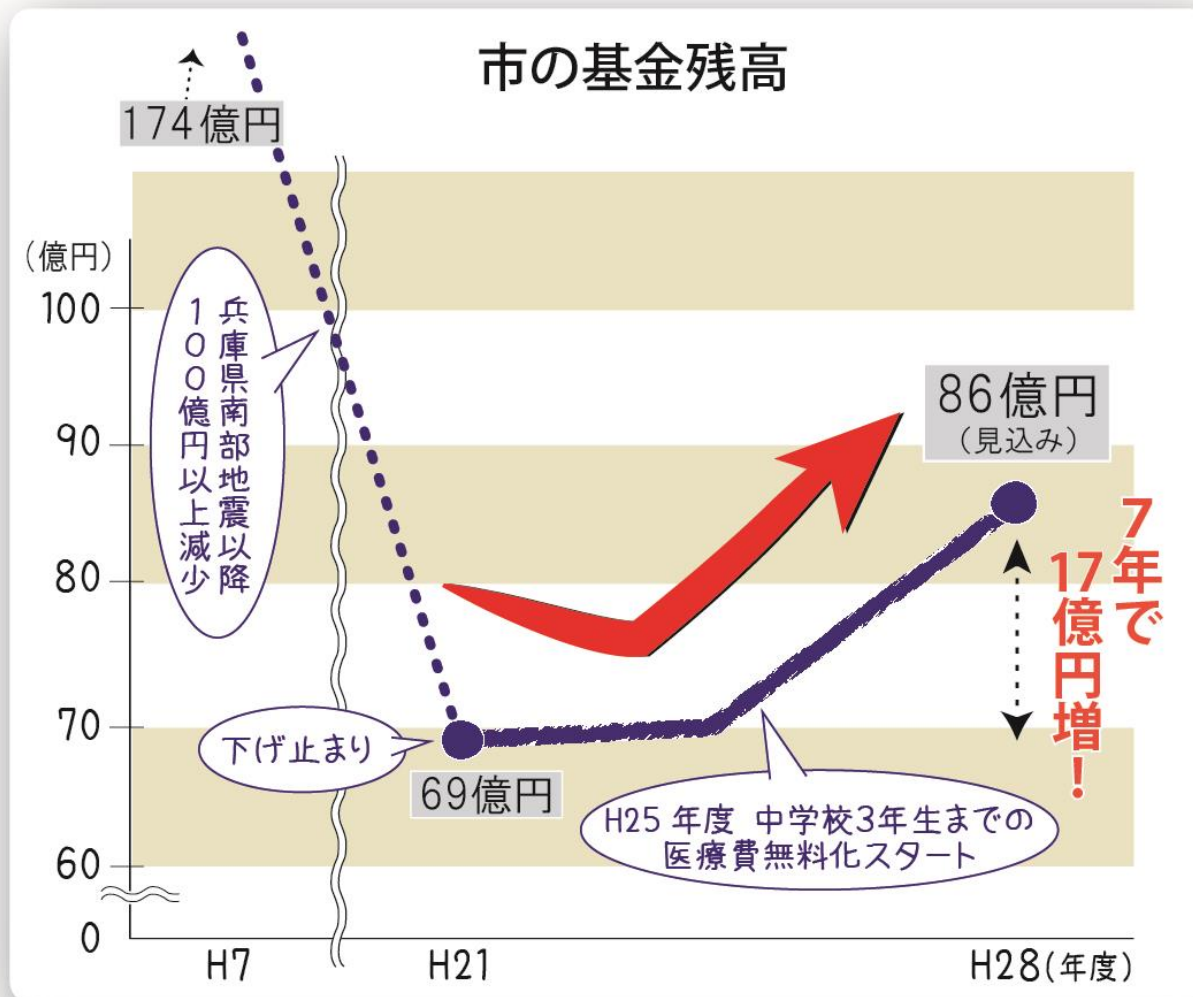
③福祉の充実をまちの発展につなげる



③福祉の充実をまちの発展につなげる



③福祉の充実をまちの発展につなげる



市長としての思い

- ①聴覚障害者が暮らしやすい社会をつくる
のは行政の責任
- ②できることを見つけて、実際に始める
- ③福祉の充実をまちの発展につなげる

 全国に拡げる

全国手話言語市区長会の設立目的

1. 法律の早期制定

①「手話言語法」

②「情報・コミュニケーション法」

2. 条例制定市の拡大

3. 手話関連施策の充実

発起人（役員）

会 長	田岡 克介(石狩市長)
副会長	品川 萬里(郡山市長)
	星野 信吾(富士見市長)
	篠田 昭(新潟市長)
	鈴木 健一(伊勢市長)
	野村 興兒(萩市長)
	岡崎 誠也(高知市長)
	十屋 幸平(日向市長)
事務局長	泉 房穂(明石市長)
顧 問	平井 伸治(鳥取県知事)
相談役	尾形 武寿(日本財団理事長)
相談役	石野 富志三郎 (全日本ろうあ連盟理事長)

設立総会・フォーラム 平成28年6月8日



参加者 **407** 名

設立総会・フォーラム



出席 **61** 市長

入会状況

266 市区長

北海道	14	東京都	10	滋賀県	6	香川県	1
青森県	6	神奈川県	7	京都府	5	愛媛県	4
岩手県	3	新潟県	6	大阪府	13	高知県	7
宮城県	2	富山県	4	兵庫県	23	福岡県	4
秋田県	3	石川県	2	奈良県	3	佐賀県	5
山形県	5	福井県	1	和歌山県	3	長崎県	11
福島県	5	山梨県	5	鳥取県	4	熊本県	2
茨城県	4	長野県	5	島根県	3	大分県	5
栃木県	6	岐阜県	3	岡山県	4	宮崎県	1
群馬県	4	静岡県	6	広島県	1	鹿児島県	6
埼玉県	9	愛知県	6	山口県	7	沖縄県	7
千葉県	15	三重県	7	徳島県	3		

2016.10.25現在

全国手話言語市区長会 取組予定

- 自治体職員向けの手話合同研修の実施
- 手話に関する啓発行事(手話演劇祭の開催)
- 会員同士の情報交換 等

社会の「あたりまえ」を変える

聴覚障害者も暮らしやすくなるように、

社会全体の「あたりまえ」を

変えていきましょう！

「手話を世の光に」

ともに頑張りましょう！